

ほのか通信

VOL.11

2012.1.19

発行



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

皆様、どのような2012年をお迎えになったでしょうか？
昨年も多く透析をお受けになっているかたがた、そのご家族の
皆様、様々な分野の医療関係者のかたたちから、たくさんのご支
援とご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

〔2011年を振り返って～災害と透析医療～〕

昨年3月11日の東日本大震災とそれに引き続いて起こった福島県の原因事故は、長く私たちの記憶に残ることと思います。被災した地域で透析をお受けになっているかたたちは治療を受けられなくなり、私どもさいたまほのかクリニックでも26名の被災された患者さんの透析治療をお引き受けしました。

いつ起こるかかわからない災害対策はとても重要です。近隣の医療機関、さらには遠隔地の透析施設などとの連絡や行政サイドとの連携など、相当の時間がかかるものと思いますが、根気強く継続的な取り組みとしていきたいと思ひます。

〔透析医療の取り組み〕

さて、さいたまほのかクリニックではこれまで以上に安全で快適な透析治療を提供できるようスタッフ一同努力をして参ります。またフットケアをはじめとする合併症対策に、ますます力を注いでいきたいと考えております。

さらにシャントのトラブルを減少させるため、PTA(風船治療)をさらに充実できるように準備をして参ります。昨年は42件のシャント治療を行わせていただき、そのうち36件はPTA(風船治療)でしたが、6件はシャントを作りかえる手術でした。PTA(風船治療)は作りかえの手術に比べてずっとお体への負担が少なくすみますし、シャントを長持ちさせることができます。シャントの作りかえ手術をできるだけ減らせるように、シャントの観察や検査を強化していくようにいたします。

今年も皆様の安全で快適な透析ライフをサポートできるように、スタッフ一同、立ち止まることなくがんばってまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



さいたまほのかクリニック
院長 堀川 和裕

さいたまほのかクリニック お問い合わせは

埼玉県さいたま市見沼区風渡野29-1 0120-373-160

TEL.048-681-6211 FAX.048-681-6212 www.kaishou.or.jp/honoka/



リハビリテーションのご紹介

当院の1Fにリハビリ室があるのをご存知ですか？

毎週月曜・火曜は理学療法士によるリハビリテーションを行っています。

運動が少なくなってくると筋力低下、関節の可動域が減少します。

身体機能の向上を目的にリハビリの相談も受けていますので、お気軽にご相談ください。

リハビリの目的

- ◆歩行時の転倒予防
- ◆関節の痛み改善
- ◆筋力強化、関節可動域改善



リハビリの内容

透析前後

〔リハビリ室での体操〕

- ・エアロバイクでの有酸素運動
- ・ストレッチポール
- ・バランスボール
- ・足のストレッチ
- ・歩行訓練



透析中

〔ベッド上での体操〕

- ・簡単な柔軟体操
- ・筋力訓練



わたしたちが担当しています！



濱崎 圭祐
Keisuke HAMASAKI

月曜日担当



妹尾 賢和
Yoshikazu SENOU

火曜日担当

リハビリでカラダを元気にしましょう！